

月刊「健康づくり」 回答

第1回：×

免疫応答が過剰に生じる（強い）とアレルギーや自己免疫疾患を発症することがあります。

第2回：○

免疫学的記憶とよばれ、免疫応答後のT細胞やB細胞が記憶細胞として体内に残ることで「感染症の二度なし」や予防接種の効果が生じます。

第3回：×

好中球は急性運動に伴い血液中の細胞数が増加します。

第4回：×

正解は好中球です。ナチュラルキラー（NK）細胞は低下します。